

ぶどうの樹だより

vol.04
2019.7.1

NEWS LETTER

ぶどうの樹キリスト教会

「名前の由来」

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。」

新約聖書 ヨハネの福音書 15章5節

この聖書のことばが「ぶどうの樹キリスト教会」の名前の由来です。イエス・キリストが「ぶどうの木」で、私たちは「ぶどうの枝」。枝は木を離れては実を結ぶことはできないので、ぶどうの木(イエス・キリスト)に繋がっていることの大切さを覚えておくため、この名前にしました。



日本福音キリスト教会連合
宗教学人 ぶどうの樹キリスト教会

〒160-0008

東京都新宿区四谷三栄町6-26



皆さんは、「教会」を訪ねたことがあるでしょうか？

私たちの教会はキリスト教会のプロテスタントに属しています。

「教会にはなかなか『敷居』が高くて、行ったことはない」という方も多いでしょう。また、宗教というものに疑いを抱き、「教会には行かない」という方もいると思います。そのような皆さんに、まずは教会に行かなくても、イエス・キリストがどういう方であるか少しでも知ってもらいたく、お便りを出しています。



ぶどうの樹キリスト教会
牧師 三木 新

「心の貧しい者は幸いです。
天の御国はその人たちの者だからです。」

マタイの福音書4章3節

皆さんは、どんな時に幸せを感じますか。

ボーナスが与えられた時。恋人や妻・夫とデートをしているとき。子どもとスキンシップを取っているとき。健康が守られ、毎日「苦」がなく生きていられるとき。他にもいろいろとあると思います。趣味の読書や音楽鑑賞、スポーツやショッピングをしているとき。美味しい物を好きな人と食べているとき…。私も、以上のようなことがあつたら幸せを感じます。

ですが、イエス・キリストという方は、ご自身の「幸福観」をお弟子さんたちにこう話し始めました。

「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちの者だからです。」

誰も思いつかなかった幸福観です。「心の貧しい者が幸い」とは、どうしてそのように言えるのでしょうか。ふつう、心が満たされて、豊かで、大らかな者が「幸い」に見えます。ところが、イエス様は心の「貧しい」者が幸いと仰いました。これは、上記に挙げた私たちの思い描く「幸せ」などからでは発想できません。

しかし、世界には孤独な人たちがいます。文化的生活環境の中で生まれながら貧しい人たち。自分の自堕落な生活・失敗などで貧しくなった人たち。恋人も配偶者もおらず、子どもも家族もない人たち。歳を重ね、身体が思うように動かなくなっていく人たち。健康を損ね、「生きがい」を見つけられず途方に暮れている人たち。私たちはそういう人たちをどこかで「不幸せ」と考えているかもしれません。

しかし、イエス・キリストはそのような見方をなさいません。そういう人たちを見放しません。世界の貧しい人たち(経済的なことだけでなく)、自分の弱さを痛感している人たち、人から見下され見放され、孤独になっている人たち。誰も手を指し伸ばす人が周囲にいない人たちにも、いやむしろ、そのような人たちにこそ、イエス様の温かな眼差しは注がれ、救いの手を指し伸ばそうと、今も招いておられます。

あなたの心は今、何で満たされているのでしょうか？いつかは過ぎ去っていく幸せでしょうか。永遠に続く天の御国の幸いを頂くため、イエス・キリストのことばと生き方を知って頂きたいと思います。